

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 1 月 23 日作成)

| | | |
|------------------------------|--|---|
| 小委員会名 | FRP 合成構造の建築への適用性検討小委員会 | 主 査 名：松本幸大 就任年月：2013 年 4 月 |
| 所属本委員会 (所属運営委員会) | 構造委員会 (鋼コンクリート合成構造運営委員会) | 委員長名：緑川光正 主 査 名：河野昭彦 |
| 設 置 期 間 | 2012 年 4 月 ～ 2016 年 3 月 | |
| 設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き) | <p>長寿命・軽量・高強度な新構造材FRPを建築合成構造の構成部材の一つとして利用し、補修・補強ならびに新規高機能構造システムとして構築するための適用性に関する調査研究を実施することを目的としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2012年度：国内外のFRP材料製造の現状を調査し、それらの建築構造への適用のための研究・実用に関する文献調査と分析を行う。並行して、米国で実施されはじめた先進的な「FRP住宅」に関する調査の見学等を企画する。 ・2013年度：米国の「FRP住宅」等の構造調査など、国内外のFRP合成構造実施状況と規準類の整備状況の調査を行う。 ・2014年度：調査で明らかになった適用性に関する長所・短所について整理するとともに、建築構造への適用を視野にいたした標準化の方針を検討する。 ・2015年度：「(仮)FRP材料の建築構造への適用」と題するセミナーを実施し、内容を資料(出版物)として出版する。 | |
| 委員構成 (委員名(所属)) | 委員公募の有無：有 | |
| | 主査：松本幸大(豊橋技術科学大学) 幹事：米丸啓介(清水建設) 委員：金久保利之(筑波大学)・馬場 望(大阪工業大学)・宮内 靖昌(大阪工業大学)・服部明生(東レ建設)・金田勝徳(構造計画プラス・ワン/日本大学)・萩尾浩也(大林組)・小宮 巖(福井ファイバーテック)・西田賢二(AGC マテックス)・有山伸之(大成建設)・山本展久(東レ) | |
| 設置 WG (WG 名：目的) | | |
| 2013 年度予算 | 120,000 円 | ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/kouzou/s34/ |

| 項 目 | 自己評価 |
|--|--|
| 委員会開催数 | 5 回 (年度内計画を含む) |
| 刊行物 (シンポジウム資料等は除く) | |
| 講習会 | |
| 催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画 | |
| 大会研究集会 | |
| 対外的意見表明・パブリックコメント等 | |
| 目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係) | 1. 「(仮)FRP材料の建築構造への適用」の構成目次案をまとめ、材料の標準試験法など、原稿の作成を始めた。 2. FRP材料を用いた最新の構造要素への適用事例に関する情報収集を行い、小委員会内での話題提供を通して、調査研究を行った。 3. 国内のFRP住宅関連の開発状況について情報および問題点などの共有を行った。 4. 海外におけるFRP住宅の調査の進捗は困難であったが、2013年度の目標は概ね達成したと考えられる。 |
| 委員会活動の問題点 ・課題 | 1. 「(仮)FRP材料の建築構造への適用」の構成目次案に基づき、原稿作成を進める。 2. 大会における研究集会を通して、FRP材料製造の現状に関する調査報告を行う。 3. FRP材料の建築構造への適用のための研究・実用に関する文献調査・分析を進める。 |